

令和6年度 長崎県の実施の経過と今後の予定

長崎県特別支援教育研究会

会長 分藤 賢之

Ⅰ 研修・研究活動の計画

期日	活動名
5月17日(金)	令和6年度長崎県特別支援教育研究会第1回役員会(集合開催)
6月10日(月)	令和6年度長崎県特別支援教育研究会第2回役員会(リモート開催)
7月30日(火)	令和6年度第34回長崎県特別支援教育研究会総会及び研究大会(集合開催)
10月7日(月)	令和6年度長崎県特別支援教育研究会第3回役員会(リモート開催)
10月22日(火)	令和6年度長崎県特別支援教育研究会秋季研修会(集合開催)
2月14日(金)	令和6年度長崎県特別支援教育研究会第4回役員会(リモート開催予定)

2 活動の概要

(Ⅰ) 第35回長崎県特別支援教育研究会総会及び研究大会

講師	国立特別支援教育総合研究所 研修事業部総括研究員 武富 博文 氏	参加人数	404名
実施型式	① 集合研修 ② リモート研修 ③ その他(資料配布等)		
演題	学習指導要領に基づく資質・能力を育む教育活動の在り方		
概要	・学習指導要領改訂のポイントや教育課程を軸に改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」についてご教授いただいた。 ・午前に総会と講演を行い、午後は5つの分科会で実践発表と研究協議を行った。 ・分科会指導助言者を県教育庁特別支援教育課及び県教育センター、市教育委員会から招聘し		

	た。
--	----

(2) 令和6年度長崎県特別支援教育研究会秋季研修会

講師	長崎大学生命医科学域保健学系 助教 徳永 瑛子 氏	参加人数	95名
実施形式	1 集合研修 2 リモート研修 3 その他(資料配布等)		
演題	特別な支援が必要な子供たちの発達を促すための指導・支援		
概要	・感覚統合の理論や実際の場面に見られる感覚の問題への対応について、講演いただいた。		

3 今年度の成果と課題

(1) 今年度の成果

○夏季研究大会では、講師の都合により講演がリモート開催となったが、モバイルルーターをレンタルすることで特に不都合なく実施することができた。

○秋季研修会の参加者が昨年度より2倍に増えた。開催要項に研修内容や講師紹介を具体的に示したことが一因として考えられる。

(2) 今後の課題

○令和7年度九特連長崎大会の円滑な開催に向けて、令和7年度の事務局校への引継ぎを例年より早期に行い、協力していきたい。